

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部明治公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	川口 剛	電話	6271

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例															
事業実施内容	適切な施設・設備等の管理を行い, 利用しやすい環境を整えた。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 231 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	44 千円	印刷機用消耗品
		使用料及び賃借料	187 千円	印刷機賃借
財源内訳	R元年度 支出済額 231 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	231 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.05
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.05

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	1,043	1,013	1,038	717
	(1)現金を伴う支出 (千円)	1,044	1,026	1,043	717
	事業費(支出済額-②報酬合計)	562	543	562	231
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	482	483	481	486
	①職員給与合計(常勤)	455	461	458	457
	②報酬合計(非常勤)	0	0	00千円	0
	③退職金相当額	27	22	23	29
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1	-13	-5	0
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-1	-13	-5	0
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2.45	2.37	2.42	1.66	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	印刷機を設置することで，公民館の円滑な運営・管理をすることができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業統合
	今後も印刷機の設置など，引き続き円滑な運営・管理ができるよう，取り組んでいく。この事務事業については，令和2年度から公民館運営業務費と統合し，より効果的，効率的な運営を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
13	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
14	公民館使用料に関すること	無	無	1	
15	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公民館運営業務費										担当課	部課名	生涯学習部明治公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	川口 剛	電話	6271

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	社会教育事業の企画実施等, 公民館運営を行う。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例					
事業実施内容	地域住民の生活文化の振興及び教養の向上を図るとともに, 市民の自主的な学習文化活動を支援し, 生涯学習を推進するため, 次の事業を実施した。 ・各種学級・講座等事業の実施 ・公民館まつりの開催						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 明治地区ふるさとまつり実行委員会, 子ども夏まつり実行委員会) (委 託 等 内 容 : 公民館まつり, 子ども夏まつり) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,586 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	838 千円	各種講座・講習等の事業の開催
		需用費	254 千円	公民館用事務消耗品
		役務費	36 千円	ピアノ調律
		委託料	367 千円	公民館まつり
		使用料及び賃借料	91 千円	DVD・フィルム賃借料
財源内訳	R元年度 支出済額 1,586 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	1,586 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.74
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.74

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	9,011	8,536	8,735	8,783			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	9,035	8,722	8,815	8,777			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,897	1,569	1,684	1,586			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,138	7,153	7,131	7,191			
	①職員給与合計(常勤)	6,735	6,822	6,784	6,764			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	403	331	347	427			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-24	-186	-80	6			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-24	-186	-80	6			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	21.20	425,105	19.97	427,501	20.35	429,317	20.28	433,060

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標	19,084	単位 人	19,339	単位 人	19,497	単位 人	18,053	単位 人
			実績	21,274	単位 人	15,623	単位 人	18,443	単位 人	15,057	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			423.57	546.37	473.62	583.32					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	さまざまな分野で幅広い層を対象に講座を開催，学習の場の提供を行っているが，参加する層に偏りがあり，特に勤労者の参加が少ないのが課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	市民の多様なニーズを把握し，幅広い層が学習活動の場に積極的に参加できるよう既存事業の見直しや新規事業の展開を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	課題は多く存在するが，さまざまな分野の学習提供及び自主的な活動の場の提供を着実にを行い，市民の多様な学習要望に応えるとともに，少数でも市民の参加を得ることで，学習活動の支援・促進を図ることができている。	
今後の方針	事業の方向性	事業統合
	「藤沢型地域包括ケアシステム」や「頼りになる拠点づくり」等，地域が今後担う役割を検討していく中で，「地域人材を育成するための学習機会の提供」や「地域コーディネーターの発掘・養成」が今まで以上に必要になることから，地域の課題を把握し，それを解決するための一助となる事業を行っていく。この事務事業については，令和2年度から公民館管理費と統合し，より効果的，効率的な運営を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
16	公民館事業の企画及び実施に関すること	無	無	3	2
17	公民館事業等に係る公金等の取扱に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------